

令和4年11月2日（水）

松工際1日目 ～ 弁論大会 ～

11月2日、第52回弁論大会が行われました。感染症対策として、第1体育館から校内配信されました。開会行事で一色校長は「言葉には伝える力があります。自分で言葉を選び、紡ぎながら自分の思いを伝えることで相手の心を揺さぶり、共感を得ることができます。また、言葉にすることによって、自分の考えがまとまり、もう一度、自分を見つめ直すこともできます。聞く側の生徒の皆さんは、自分と違う意見を聞きながら、自分自身はどう生きていきたいのか、どのように学んでいけばいいのか深く考え、これから生活に役立ててください。話し手と聞き手の心が一体となって、気持ちが前向きになるような弁論大会になることを願います。」と述べました。工業各科を代表した弁士が、自分の経験や自分を取り巻く環境に対して、高校生らしい意見や主張を訴えました。審査の結果、電気科3年の曾我さん「この地に足を踏み入れて」が最優秀賞を受賞しました。



最優秀賞 曾我さん(電気科3年)



校内配信を視聴するホームルームの様子



一色校長先生あいさつ



第52回弁論大会弁士たち



表彰式

～ SDGs 発表会 ～

弁論大会の後、本校防災リーダーが「持続可能な開発目標（SDGs）」達成に向け、高校生が考えたアイデアを基に自ら活動する「えひめSDGs甲子園」の発表会に参加し、グランプリをいただきました。その時の成果発表を行いました。小・中学生向けの防災カードゲームを制作し地域防災力向上を提案、実際に湯山中学校で実施した出前授業をプレゼンし、将来、防災教育に活用できるカードゲーム教材の開発を目指している内容です。

これからも、地域課題への解決のため地域に根差した取組を行っていききたいと抱負を述べました。



SDGs発表会のプレゼンシート（一部抜粋）